

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	ビューティマーケティング論					【対面授業と遠隔授業の併用実施】	
担当教員	木村 亜友、田村 芽依、大島 莉奈			実務授業の有無	○		
対象学科	ビューティ&ビジネス・情報大学科	対象学年	1.2年		開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	一		時間数	60	
授業概要、目的、 授業の進め方	マーケティングの基本概念（顧客理解、ターゲット設定、価値提案等）の理解と、メイクアップ実習を組み合わせて行う。各回のテーマに基づき、想定顧客や利用シーンを設定した上でメイクデザインを考案・実践し、その意図や効果について振り返りを行う。						
学習目標 (到達目標)	顧客ニーズやターゲットに応じたメイク提案を行うことができる。 顧客志向に基づいたサービス提供の重要性を理解し、実践に活かすことができる。						
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	テキスト「パーソナルカラーテキスト」、メイク道具一式、補助プリント						
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考			
1	【1年】ビューティマーケティングとは			マーケティングの基本概念、美容業界との関係			
2	【1年】美容市場と消費者動向			美容業界の現状、トレンド分析			
3	【1年】顧客心理と購買行動			購買意思決定プロセス、消費者心理			
4	【1年】ロールプレイング（店頭販売想定）			製品購入ロープレ、カウンセリング～技術提供			
5	【1年】色彩・印象とマーケティング			商品パッケージ比較分析			
6	【2年】SNSマーケティングの基礎			美容情報SNS投稿作成（Instagram・Tiktok活用）			
7	【2年】年代別メイク提案実践			実習			
8	【2年】顧客タイプ別メイク提案実践			実習			
9	【2年】ビューティマーケティング実践			オリジナルサロン運営・実習			
10							
11							
12							
13							

科目名	美容産業経営基礎			【対面授業と遠隔授業の併用実施】	
担当教員	木村 亜友、田村 芽依、小杉 久美		実務授業の有無	○	
対象学科	ビューティ&ビジネス・情報大学科	対象学年	1 年	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	60
授業概要、目的、授業の進め方	美容産業における事業運営の基本的な仕組みを理解するとともに、メイクアップ分野における基礎理論を踏まえたサービス提供のあり方について学ぶ。美容サービスの特徴や顧客価値の創出、技術とサービスの関係について理解を深め、産業としての美容ビジネスの構造を把握する。				
学習目標 (到達目標)	美容サービスにおける基本的なビジネス構造を理解できる。 メイク基礎理論（色彩・顔分析・基本技術）を理解し、実践できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	テキスト「MAKE-UP COURSE TEXT」、「パーソナルカラーテキスト」メイク道具一式、補助プリント				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	美容業界とマーケティングの基礎				
2	メイクアップ基礎理論①（顔バランス）			講義 テキスト p 10～14	
3	顔バランス診断とカウンセリング実践			実習	
4	色彩学基礎理論①（色が見える仕組み）			講義 テキスト p 31～	
5	色彩学基礎理論②（色の属性）			講義 テキスト p 37～	
6	色彩学基礎理論③（色のものさし）			講義 テキスト p 57～	
7	美容ビジネスにおける色彩の役割				
8	色彩学基礎理論④（色彩の心理効果）			講義 テキスト p 63～	
9	色彩が与える印象と顧客心理				
10	メイクアップ基礎理論（イメージメイクアップ）			実習 テキスト p 40～44	
11	カウンセリング～パーソナルメイク実践①			実習	
12	カウンセリング～パーソナルメイク実践②			実習	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
実技試験 80％、学習意欲 15％ レポート 5％ 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				本授業では、美容産業の仕組みを理解するとともに、色彩理論や顔分析を活用した顧客提案について学ぶ。授業内での演習・実習への積極的な参加をし、美容サービスやトレンドに関心を持ち、顧客視点で考察する習慣を身につけること。	
実務経験教員の経歴		美容部員として現場に5年以上勤務しており、基本的メイク技術・知識はもちろん、最新技術・トレンドの指導も可能。			

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	サロン経営財務基礎			【対面授業と遠隔授業の併用実施】		
担当教員	木村 亜友、本間 紗織、大島 莉奈		実務授業の有無	○		
対象学科	ビューティ&ビジネス・情報大学科	対象学年	1,2年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	一	時間数	60	
授業概要、目的、授業の進め方	美容サロンにおける事業運営の基本的な仕組みを理解するとともに、財務および会計の基礎知識について学ぶ。売上、費用、利益といった基本的な経営指標を踏まえ、美容サービス業における収益構造について理解を深める。 また、サロンマネジメントの視点から、サービス提供、人材管理、顧客対応の基本について学び、事業運営における数値管理の重要性を理解する。					
学習目標 (到達目標)	売上・費用・利益の関係を理解し、基本的な数値の意味を説明できる。 会計・簿記の基礎概念（収支・原価・利益）を理解できる。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	補助プリント					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	【1年生】様々な美容業界の職種があることを知る			セイファート、リクルートなどの講演		
2	【1年生】サロン体験			各自で希望する店舗やサロンに出向き、観察する。		
3	【1年生】お出迎え～お見送りのロープレ			言葉遣い、誘導の仕方などの実習		
4	【2年生】美容部員・ネイリストの仕事について			現場経験談を教務から伝える		
5	【2年生】1日、1か月、年間のスケジュール、ワークパターンを知る			補助プリントやネットを使い、シーズン毎・年齢層毎のトレンドを知る		
6	【2年生】「愛される美容部員・ネイリスト」として必要なこと			卒業生の話		
7	【2年生】お客様をつかむ店頭・サロンについて			補助プリントを使い、自分のサロンを考えてみる		
8	【2年生】クレーム・トラブルを乗り越えるためには			現場体験談を元に補助プリントにまとめる		
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
学習意欲 70％、レポート30％ 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				現場を知ることが、とても重要です。先生方や卒業生の体験談を聞き、今、自分に不足しているものなどを知ることが大切です。 接客に必要な言葉遣いや誘導の仕方、ご提案の仕方などを学びましょう。そのために、実際に店舗やサロンに行くなどし体験することも大きな学びを得ることができるでしょう。		
実務経験教員の経歴		美容部員として現場に5年以上勤務しており、基本的メイク技術・知識はもちろん、最新技術・トレンドの指導も可能。 ネイリストとしてサロン運営をした経験を持ち、現在では日本ネイリスト協会本部認定講師であり、検定課題はもちろ現場で必要な知識・技術指導も可能。				

科目名	メイクビジネス分析基礎			【対面授業と遠隔授業の併用実施】	
担当教員	木村 亜友、田村 芽依、小杉 久美		実務授業の有無	○	
対象学科	ビューティ&ビジネス・情報大学科	対象学年	1.3年	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	60
授業概要、目的、授業の進め方	メイクアップの基礎技術を理解するとともに、美容産業におけるデータや情報を活用した分析の基本的な考え方について学ぶ。顧客ニーズや市場動向、トレンドの把握を通して、メイクサービスにおける価値創出の仕組みを理解する。また、実践的な活動を通して、メイク技術と情報分析を関連づけ、顧客に適した提案を行うための基礎的な視点を養う。				
学習目標 (到達目標)	メイクアップの基礎技術を理解し、実践できる。 情報を整理し、比較・分析する基本的な考え方を理解できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	テキスト「HOW TO MAKE FACES」、メイク道具一式、補助プリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	メイクビジネスの基礎理解		メイク業界の仕組みと職種・業界マップの作成		
2	化粧品市場の動向分析		国内外市場とトレンド、売れているコスメ調査		
3	トレンド分析メイク実習		トレンドメイク実践		
4	消費者ニーズの分析		世代別・性別によるニーズの違い		
5	ターゲット分析メイク実習		年代別メイク実習（10代～50代）		
6	ブランド分析①		ブランドコンセプトとブランド比較研究		
7	ブランド分析②		販売媒体比較（デパコス・プチプラ・韓国など）		
8	ブランド分析メイク実習		ブランド別メイク実習（ブラインドイメージ表現）		
9	SNSとメイクトレンド		情報発信、インフルエンサーの情報分析		
10	SNSマーケティングメイク実習①（トレンド）		SNS映えメイク制作（撮影・ライティング）		
11	SNSマーケティングメイク実習②（クリエイティブ広告）		SNS映えメイク制作（撮影・ライティング）		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技試験 80％、学習意欲 15％ レポート 5％ 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。			本授業では、メイク業界の市場動向やブランド戦略、消費者ニーズについて学ぶとともに、実習を通して分析結果をメイク提案へ結び付ける力を養う。授業内で行う調査・発表・実習には積極的に参加し、美容業界のトレンドや化粧品情報に日頃から関心を持つこと。		
実務経験教員の経歴	美容部員として現場に5年以上勤務しており、基本的メイク技術・知識はもちろん、最新技術・トレンドの指導も可能。				

科目名	メイクベーシック			【対面授業と遠隔授業の併用実施】		
担当教員	木村 亜友、田村 芽依、石川 育実、小杉 久美			実務授業の有無	○	
対象学科	ビューティ&ビジネス・情報大学科	対象学年	1年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	60	
授業概要、目的、授業の進め方	1.メイクアップの基本テクニックを身に付け、「FORUM MAKE-UP PARIS」の修了証の取得を目指す 2.撮影時のメイクアップ技術を学び、作品を撮影し、フォトコンテストの入賞を目指す					
学習目標 (到達目標)	「FORUM MAKE-UP PARIS」修了証取得					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	テキスト「MAKE-UP COURSE TEXT」、メイク道具一式、補助プリント					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
4月	教材配布、テキスト「MAKE-UP COURSE TEXT」座学			講義 テキストp6～25		
5月	スキンケア、メイクアップ実習（基本、曲線）			実習 テキストp27～39		
6月	メイクアップ実習（直線）			実習 テキストp32～39		
7月	パーソナルメイク、試験対策、「FORUM MAKE-UP PARIS」修了試験			実習 テキストp40～45		
8月	「City&Guilds」の試験について、テキスト「HOW TO MAKE FACES」座学			実習 テキスト1 p4～5、11～39		
9月	ベースメイク、ソフトメイク、シャープメイク			実習 テキスト2 p4～7		
10月	ソフト&シャープメイク（半顔ずつ）			実習 テキスト2 p4～7		
11月	期末試験に向けて、模擬試験、期末試験			相モデルでの実習、チェックング		
12月	専攻メイク					
1月	撮影に向けた作品構築（グループでの役割決定、作品のイメージを固める）			3人1グループ（モデル、ヘア担当、メイク担当）での実習、チェックング		
2月	撮影に向けた作品構築（ヘア、メイクのバランスを考える）			3人2グループ（モデル、ヘア担当、メイク担当）での実習、チェックング		
2月	撮影に向けた作品構築（衣装、小物との最終バランスを考える）			3人3グループ（モデル、ヘア担当、メイク担当）での実習、チェックング		
2月	作品構築、撮影			3人4グループ（モデル、ヘア担当、メイク担当）での実習、チェックング		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
実技試験 80％、学習意欲 15％ レポート 5％ 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				基本的なメイク技術をしっかりと認識して実習に臨むこと。積極的に実習に取り組み、モデルへの配慮、気遣い、マナーを守ること。毎回、実習後にはメイクのデッサンを記入し、前期、後期の期末試験時に提出すること。		
実務経験教員の経歴	美容部員として現場に5年以上勤務しており、基本的メイク技術・知識はもちろん、最新技術・トレンドの指導も可能。					

科目名	メイク＆サロンマネージメント				【対面授業のみ実施】	
担当教員	桑由香里、阿部久美子、齋藤和江、大島莉奈			実務授業の有無	○	
対象学科	ビューティ&ビジネス・情報大学科	対象学年	2年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	一	時間数	210	
授業概要、目的、 授業の進め方	2年次のコース選択である、特殊メイク、ブライダル、国際ライセンスメイク(基礎・応用)の授業を行いより現場に近い、実践的授業を実施。					
学習目標 (到達目標)	City&Guilds skill.1 取得、プロフェッショナルメイクアップアーティスト認定資格 取得					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	テキスト「How To Make Faces」、「プロフェッショナルメイクアップアーティスト公式テキスト」メイク道具一式、補助プリント 他					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
後 期	特殊メイク①（傷メイク）			デモ、相モデルでの実習、チェックング		
	特殊メイク②（ボディペイント）			デモ、相モデルでの実習、チェックング		
	特殊メイク③（死体メイク）			デモ、相モデルでの実習、チェックング		
	ブライダル①（ヘアアレンジ）			デモ、相モデルでの実習、チェックング		
	ブライダル②（挙式の種類、ブライダルメイク）			講義、デモ		
	ブライダル③（ドレスフィッティング）			デモ、相モデルでの実習、チェックング		
	ブライダル③（模擬挙式構築・実践）			グループワーク		
	C&Gメイク講義・実習①（ソフト&シャープ）			デモ、相モデルでの実習、チェックング		
	C&Gメイク講義・実習②（フェミニン）			デモ、相モデルでの実習、チェックング		
	C&Gメイク講義・実習③（ゴージャス）			デモ、相モデルでの実習、チェックング		
	C&Gメイク講義・実習④（ヘルシー）			デモ、相モデルでの実習、チェックング		
	C&Gメイク講義・実習⑤（オリエンタルセクシー）			デモ、相モデルでの実習、チェックング		
	C&G skill.1 実技試験			国際ライセンス取得試験		
	メイクにおける接客接遇マナー			講義、グループワーク		
	接客スキルとパーソナルメイク実習			デモ、相モデルでの実習、チェックング		
	プロフェッショナルメイクアップアーティスト認定試験			資格試験		
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
実技試験 80%、学習意欲 20%				積極的に実習に取り組み、モデルへの配慮、気遣い、マナーを守ること。毎回、デモ後にはメイクのデッサンを記入する事。検定取得に向けて、積極的に受講し、実技の反復練習が必須である。		
成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴		メイクアップアーティスト・ブライダリストとして現在も活躍中。 美容部員として現場に5年以上勤務しており、基本的メイク技術・知識はもちろん、最新技術・トレンドの指導も可能。				

科目名	ネイル&サロンマネージメント				【対面授業と遠隔授業の併用実施】	
担当教員	齋藤 明子・本間 紗織・川崎綾子			実務授業の有無	○	
対象学科	ビューティ&ビジネス・情報大学科	対象学年	2年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	一	時間数	210	
授業概要、目的、授業の進め方	①当日のシラバスを伝え、到達目標を確認 ②デモンストレーション ③相モデルで演習・チェック					
学習目標 (到達目標)	ネイリスト技能検定試験1級・ジェル検定中級レベルの技術と知識を身に付け、検定取得をする。サロンワークで必要なカウンセリング力と技術力を身に付ける。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	JNAテクニカルシステム ベーシック、JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～、JNAテクニカルシステム アドバンス					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	教材配布、商材の特徴説明			配布教材を確認しながら、使い方や特徴を伝える		
2	スカルプチュア デモンストレーション後、練習用ハンドで実習			実習（JNAテクニカルシステム アドバンスP38～P49、P60～67）		
3	スカルプチュア デモンストレーション後、相モデルで実習			実習（JNAテクニカルシステム アドバンスP38～P49、P60～67）		
4	マシンでのジェルオフ 特徴・操作の仕方 練習用ハンドで実習			実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P82～P83）		
5	マシンでのジェルオフ 特徴・操作の仕方 相モデルで実習			実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P82～P83）		
6	マシンでのネイルケア 特徴・操作の仕方 練習用ハンドで実習			実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P86）		
7	マシンでのネイルケア 特徴・操作の仕方 相モデルで実習			実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P86）		
8	エアブラシの特徴と操作の仕方。デモンストレーション後、チップで実習			実習（JNAテクニカルシステム アドバンスP124～P138）		
9	エアブラシで5本ワンセットのアート作品を制作			実習（JNAテクニカルシステム アドバンスP124～P138）		
10	ジェル フレンチネイル デモンストレーション後、チップで実習。相モデルで実習			実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P93～P95）		
11	足のトラブルについて			座学（co-medicalネイルケアP22～P54）		
12	フットケア デモンストレーション後、相モデルで実習			実習（SpaLuceエデュケーターマニュアルP1～P15）		
13	ネイリスト技能検定試験1級 要項確認			JNEC主催 ネイリスト技能検定試験要項		
14	ネイリスト技能検定試験1級対策 実習・筆記			実習（JNAテクニカルシステム アドバンスP38～P49、P60～67）		
15	ジェル グラデーションネイル デモンストレーション後、チップで実習。相モデルで実習			実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P89～P91）		
16	ジェル スカルプチュア デモンストレーション後、相モデルで実習			実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P63～P66）		
17	ジェル検定 中級対策 実習・筆記			実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P89～P91、63～P66、P93～P95）		
18	サロンシュミレーション実習			実習（入店～退店までのロープレ）		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 30%、実技試験 50%、学習意欲 10% レポート10% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				プロネイリストとして求められる技術力・接客力を身に付けるために、確認や復習をしっかりと行いながら実習授業を受けましょう。そして、言葉遣いや立ち振る舞いなども接客する上でとても重要です。また、各種検定合格に向けての練習も重要です。		
実務経験教員の経歴	ネイリストとしてサロン運営をした経験を持ち、現在では日本ネイリスト協会本部認定講師であり、検定課題はもちろ現場で必要な知識・技術指導も可能。					

科目名	装飾芸術史とネイルデザイン					【対面授業と遠隔授業の併用実施】	
担当教員	高野翼・本間紗織			実務授業の有無	○		
対象学科	ビューティ&ビジネス・情報大学科	対象学年	1.3年		開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	一		時間数	60	
授業概要、目的、授業の進め方	美術・デザインの歴史の変遷について理解するとともに、その知識をネイルデザインに応用する力を養う。各時代における装飾様式や色彩、造形表現の特徴を学び、美的感覚やデザイン理解を深める。 また、ネイルベーシックの技術を基盤とし、歴史的なデザイン要素を取り入れたネイルアートの制作を通して、表現力と応用力の基礎を身につける。						
学習目標 (到達目標)	ネイルベーシックの基礎技術を理解し、実践できる。 美的感覚および創造的表現力の基礎を身につける。						
テキスト・教材・参考図書・その他資料	補助プリント						
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考			
1	教材配布、衛生・消毒・ネイルケアの流れ			JNAテクニカルシステム ベーシックP38、39、70～P73、74			
2	装飾芸術とは何か（デザイン分析シート作成）			ワークシート			
3	古代エジプト・ギリシャ・ローマの装飾文化 古代装飾モチーフを用いたネイルチップ制作			実習			
4	中世・ゴシック様式の美意識 ステンドグラス風ネイルアート			実習			
5	ルネサンス・バロック・ロココ様式 ロココ調フラワーネイル制作			実習			
6	アール・ヌーヴォーとアール・デコ 曲線・幾何学模様ネイル制作			実習			
7	日本の伝統美（和柄・着物・工芸） 柄ネイルデザイン制作			実習			
8	現代アートとネイルデザイン 抽象アートネイル制作			実習			
9	作品発表グループワーク			歴史様式を取り入れたネイル作品完成・プレゼンテーション			
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
評価方法・成績評価基準				履修上の注意			
実技試験 40%、学習意欲 20% 提出課題 40%				実習ではネイルチップを使用した作品制作を行うため、事前準備を徹底すること。歴史的背景の理解と作品制作を関連付けながら学習すること。提出物は期限内に提出し、作品には制作意図を記載すること。他者の作品や文化的モチーフを尊重し、模倣だけでなく独自の発想を取り入れること。			
成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。							
実務経験教員の経歴	ネイリストとしてサロン運営をした経験を持ち、現在では日本ネイリスト協会本部認定講師であり、検定課題はもちろ現場で必要な知識・技術指導も可能。						

科目名	ネイルアート研究基礎			【対面授業と遠隔授業の併用実施】	
担当教員	本間紗織・高野翼		実務授業の有無	○	
対象学科	ビューティ&ビジネス・情報大学科	対象学年	1.3年	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	一	時間数	60
授業概要、目的、授業の進め方	ネイルアートにおける基礎技術を理解するとともに、デザインリサーチの視点からネイルデザインの構成や表現方法について学ぶ。色彩、形態、装飾要素などのデザイン要素に着目し、調査・分析を通してネイルデザインの特徴を理解する。実践的な制作活動を通して、調査結果をネイルデザインに応用し、創造的表現力と専門技術の基礎を身につける。				
学習目標 (到達目標)	ネイルアートの基礎技術を理解し、実践できる。 デザイン要素（色彩・形態・装飾）について基礎的に理解できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	JNAテクニカルシステム ベーシック、JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ネイルアート研究とは・デザイン分析ワーク		ワークシート		
2	色彩理論と配色デザイン・カラーバリエーション制作		ワークシート		
3	ライン・形状・バランスの研究（ラインアート制作）		実技		
4	フラワーアート研究（フラワーアート制作）		実技		
5	トレンドネイル分析（SNSトレンド再現アート）		実技		
6	ターゲット別デザイン提案（年代別ネイルデザイン制作）		実技		
7	オリジナル作品企画（デザイン画作成・試作）		実技		
8	作品発表・講評会		プレゼンテーション		
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技試験 40%、学習意欲 20% 提出課題 40%			毎回ネイル道具一式を持参すること。		
成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。			流行のデザインやアート作品に日頃から触れ、発想の幅を広げること。制作だけでなく、作品の分析や考察にも積極的に取り組むこと。作品はポートフォリオとして保管し、就職活動にも活用できるように整理すること。		
実務経験教員の経歴	ネイリストとしてサロン運営をした経験を持ち、現在では日本ネイリスト協会本部認定講師であり、検定課題はもちろ現場で必要な知識・技術指導も可能。				

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	ネイルベーシック		【対面授業と遠隔授業の併用実施】		
担当教員	齋藤明子・山際眞子・高野翼		実務授業の有無	○	
対象学科	ビューティ&ビジネス・情報大学科	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	一	時間数	60
授業概要、目的、 授業の進め方	①当日のシラバスを伝え、到達目標を確認 ②デモンストレーション ③相モデルで演習・チェック				
学習目標 (到達目標)	ネイリスト技能検定試験3級の技術と知識を身に付け、検定取得をする				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	JNAテクニカルシステム				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	教材配布、衛生・消毒・ネイルケアの流れ		JNAテクニカルシステム ベーシックP38、39、70～P73、74		
2	座学		JNAテクニカルシステム ベーシックP8～P29		
3	ネイルケア デモンストレーション後、相モデルにて実習		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP74～P81）		
4	ネイルケア 相モデル実習①		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP74～P81）		
5	ネイルケア 相モデル実習②		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP74～P81）		
6	座学		JNAテクニカルシステム ベーシックP38～P67		
7	ネイルカラーリング デモンストレーション後、相モデルにて実習		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP82～84）		
8	ネイルカラーリング 相モデルにて実習		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP82～84）		
9	フラットアート 3級用ネイルアート演習①		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP124～P127）		
10	フラットアート 3級用ネイルアート演習②		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP124～P127）		
11	相モデルにて両手ネイルケア		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP74～P81）		
12	検定対策 タイムトライアル実践				
13					
14					
15					
16					
17					
18					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技試験 80%、学習意欲 10%			道具の扱い方、手順を学ぶだけでなく、お客様の手の預かり方や誘導の仕方も丁寧かつスマートに扱うことを身に付けます。各章毎での技術の重要カ所を教科書で確認し、実習を行いましょう。また、定期テスト、各検定試験合格に向けての練習も重要です。		
成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ネイリストとして現在活躍中。日本ネイリスト協会 本部認定講師であり、検定課題はもちろ現場で必要な知識・技術指導も可能。				

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	ジェルネイル		【対面授業と遠隔授業の併用実施】		
担当教員	川崎綾子・高野翼		実務授業の有無	○	
対象学科	ビューティ&ビジネス・情報大学科	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	一	時間数	60
授業概要、目的、 授業の進め方	①当日のシラバスを伝え、到達目標を確認 ②デモンストレーション ③相モデルで演習・チェック				
学習目標 (到達目標)	ジェル検定初級レベルの技術と知識を身に付け、検定取得をする				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	JNAテクニカルシステム ベーシック、JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	教材配布、衛生・消毒・ネイルケアの流れ		JNAテクニカルシステム ベーシックP38、39、70～P73、74		
2	座学		JNAテクニカルシステム ベーシックP8～P29		
3	ネイルケア デモンストレーション後、相モデルにて実習		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP74～P81）		
4	ネイルケア 相モデル実習①		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP74～P81）		
5	ネイルケア 相モデル実習②		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP74～P81）		
6	座学		JNAテクニカルシステム ベーシックP38～P67		
7	ジェルの特性と扱い方・知識		JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P18～P23）		
8	ジェルの塗り方 デモンストレーション後、相モデルにて実習		実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P56～P60）		
9	ジェルアート（ピーコック） デモンストレーション後、チップにて実習		実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P96～P99）		
10	ジェル検定 初級対策 実習・筆記		実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P18～P23、P56～P60、P96～P99）		
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技試験 80%、学習意欲 10% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。			道具の扱い方、手順を学ぶだけでなく、お客様の手の預かり方や誘導の仕方も丁寧かつスマートに扱うことを身に付けます。各章毎での技術の重要な所を教科書で確認し、実習を行いましょう。また、定期テスト、各検定試験合格に向けての練習も重要です。		
実務経験教員の経歴	ネイリストとして現在活躍中。日本ネイリスト協会 本部認定講師であり、検定課題はもちろ現場で必要な知識・技術指導も可能。				

科目名	美容サービスと交渉スキル概論				【対面授業と遠隔授業の併用実施】	
担当教員	原 直美・田伏 澄子・木村 亜友			実務授業の有無	○	
対象学科	ビューティ&ビジネス・情報大学科	対象学年	3.4年		開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	一		時間数	60
授業概要、目的、授業の進め方	美容サービスにおける施術および接客の基礎を理解するとともに、対人関係におけるコミュニケーションおよび交渉の基本的な考え方について学ぶ。顧客の要望把握や合意形成のプロセスを理解し、美容サービスにおける対話の重要性について考察する。エステティックの実践的な授業を通して、顧客との信頼関係構築やニーズに応じた提案力を養い、円滑なサービス提供の基礎を身につける。					
学習目標 (到達目標)	美容サービスにおける基本的な施術および接客の流れを理解できる。 顧客の要望を適切に把握するためのコミュニケーションができる。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ソワンエステティックテキスト・講師オリジナルテキスト					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	顧客満足とホスピタリティ（接客事例研究）			講義		
2	コミュニケーションの基本（傾聴トレーニング）			講義		
3	接客マナーとサロン動作（お迎え・ご案内練習）			ロールプレイング		
4	信頼関係を築く会話術			講義		
5	カウンセリング技法（ヒアリング演習）			講義		
6	カウンセリング実践			ロールプレイング		
7	サロンワーク実践（カウンセリング～施術）			実技		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
学習意欲 40%、レポート 60% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				授業内ではグループワークやロールプレイを実施するため、積極的に参加すること。美容業界の動向やサービス事例に日頃から関心を持ち、主体的に情報収集を行うこと。顧客対応を想定した演習では、相手を尊重したコミュニケーションを心掛けること。		
実務経験教員の経歴		エステティシャンとしてサロン経験5年以上の現場経験があり、基本的技術・知識の他に現場で使える技術・接客等の実践的教育が可能。国際ライセンスや試験官資格を保持している。				

科目名	セルフブランディングと対話力実践				【対面授業のみ実施】	
担当教員	原 直美・田伏 澄子・木村 亜友			実務授業の有無	○	
対象学科	ビューティ&ビジネス・情報大学科	対象学年	3.4年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	－	時間数	105	
授業概要、目的、授業の進め方	自己理解を基盤としたセルフブランディングの考え方を学び、自身の強みや価値を適切に表現する力を養う。社会や職業生活における自己表現および対話の重要性について理解を深め、多様な相手とのコミュニケーションの在り方について学ぶ。授業を通して、相手の立場を理解しながら自分の考えを伝える力や、異なる背景を持つ相手とも円滑に意思疎通を図るための基礎的な対話力を身につける。					
学習目標 (到達目標)	自己理解を深め、自身の強みや価値を整理できる。 多様な相手とのコミュニケーションに対応する基礎的能力を身につける。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サービス接客検定3級ガイド・ソワンエステティックテキスト・面接対策&ビジネスマナー					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	エステティシャンに求められる人間力 自己分析ワーク			ワークシート		
2	自分の強みと価値観を知る 強み発見シート作成			ワークシート		
3	第一印象とプロフェッショナルマナー 身だしなみチェック・印象分析			ワークシート		
4	エステティシャンとしてのセルフブランディング 理想のエステティシャン像作成			ワークシート		
5	対話力① 傾聴力を高める 傾聴トレーニング			サービス接客検定3級受験ガイドP12～34		
6	対話力② 質問力と共感力 カウンセリング演習			サービス接客検定3級受験ガイドP12～34		
7	顧客心理と信頼関係の構築 ケーススタディ			サービス接客検定3級受験ガイドP40～55		
8	就職活動と自己PR			面接対策&ビジネスマナー p 56～65		
9	面接練習・自己紹介			面接対策&ビジネスマナー p 88～104		
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
学習意欲 40%、レポート 60% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				グループワークやロールプレイを積極的に行い、実践的なコミュニケーション能力の向上に努めること。 他者の意見や価値観を尊重し、相互理解を深めながら学習すること。エステティシャンとしてふさわしい言葉遣いや身だしなみを意識して授業に参加すること。		
実務経験教員の経歴	エステティシャンとしてサロン経験5年以上の現場経験があり、基本的技術・知識の他に現場で使える技術・接客等の実践的教育が可能。					

科目名	美容サービスビジネス基礎			【対面授業と遠隔授業の併用実施】	
担当教員	原 直美・田伏 澄子・木村 亜友		実務授業の有無	○	
対象学科	ビューティ&ビジネス・情報大学科	対象学年	3年	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	60
授業概要、目的、授業の進め方	美容サービスにおける施術および接客の基礎を理解するとともに、ビジネスリテラシーの観点からサービス提供の基本的な考え方について学ぶ。顧客対応、マナー、情報の取り扱い、職業意識など、社会人として求められる基礎的能力について理解を深める。エステの実践的な活動を通して、サービス提供の一連の流れを体験し、美容産業におけるビジネスの基礎を身につける。				
学習目標 (到達目標)	美容サービスにおける基本的な施術および接客の流れを理解できる。 社会人として求められる基本的なマナーや行動を実践できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ソワンエステティックテキスト・講師オリジナルテキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	美容サービス業界の現状と役割		ワークシート		
2	顧客満足（CS）の考え方		講義・グループワーク		
3	顧客ニーズとカウンセリング		講義		
4	売上とサロン経営の基礎 サロン経営シミュレーション①		演習		
5	売上とサロン経営の基礎 サロン経営シミュレーション②		演習		
6	SNSと集客の基礎知識 サロンPR企画		企画考案・演習		
7	エステサロン企画		実際にサロン運営を行う		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 40%、レポート 60% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。			美容業界の動向や市場の変化に関心を持ち、主体的に情報収集を行うこと。エステティシャンとしての職業意識を持ち、サービス提供者の視点で考察すること。		
実務経験教員の経歴	エステティシャンとしてサロン経験5年間の現場経験があり、基本的技術・知識の他に現場で使える技術・接客等の実践的教育が可能。				

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	アロマテラピー品質保証基礎			【対面授業のみ実施】	
担当教員	田中洋子		実務授業の有無	○	
対象学科	ビューティ&ビジネス・情報大学科	対象学年	2,4年	開講時期	後期
必修・選択	必須	単位数	－	時間数	75
授業概要、目的、授業の進め方	アロマテラピーに関する基礎知識と技術を理解するとともに、品質管理および安全性の観点からサービス提供の基本的な考え方について学ぶ。精油の特性や取り扱い方法、品質の維持・管理に関する基礎知識を通して、安全で適切なサービス提供の重要性について理解を深める。				
学習目標 (到達目標)	アロマテラピーにおける精油の基本的な特性を理解できる。 精油の適切な取り扱いおよび使用方法を実践できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	アロマ環境協会 公式テキスト1級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	アロマテラピーについて		公式テキスト1級P9～18 ルームフレッシュナー		
2	アロマテラピーについて		公式テキスト1級P9～18 ルームフレッシュナー		
3	アロマテラピーについて		公式テキスト1級P9～18 ルームフレッシュナー		
4	精油の基礎知識		公式テキスト1級P27～37		
5	精油の基礎知識		公式テキスト1級P27～37		
6	実戦練習、メニュー手技確認		公式テキスト1級P27～37		
7	実戦練習、メニュー手技確認		公式テキスト1級P27～37		
8	アロマテラピー利用法		公式テキスト1級P83～110		
9	アロマテラピー利用法		公式テキスト1級P83～110		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 60%、レポート 40％ 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。			各精油の効果・効能・注意点をよく理解し効果的に使用していく。		
実務経験教員の経歴	アロマテラピーショップとスクールを経営、現場の知識と技術の指導が可能。				

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	エステベーシック			【対面授業と遠隔授業の併用実施】		
担当教員	原 直美・田伏 澄子・木村 亜友			実務授業の有無	○	
対象学科	ビューティ&ビジネス・情報大学科	対象学年	3,4年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	510	
授業概要、目的、 授業の進め方	ボディ技術の習得 お客様への接客・気配りを養う					
学習目標 (到達目標)	修了試験合格を目指す					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ソワンエステティックテキスト・オリジナルテキスト					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	ワゴン・ベッドのセッティングの仕方、モデルの誘導の仕方			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
2	ワゴン・ベッドのセッティングの仕方、モデルの誘導の仕方			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
3	ワゴン・ベッドのセッティングの仕方、モデルの誘導の仕方			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
4	下肢後面デモ、下肢後面技術			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
5	下肢後面デモ、下肢後面技術			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
6	実戦練習、メニュー手技確認			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
7	実戦練習、メニュー手技確認			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
8	実戦練習、メニュー手技確認			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
9	実戦練習、メニュー手技確認			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
10	実戦練習、メニュー手技確認			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
11	背部デモ、背部・下肢後面技術練習			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
12	背部デモ、背部・下肢後面技術練習			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
13	実戦練習、メニュー手技確認			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
14	実戦練習、メニュー手技確認			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
15	実戦練習、メニュー手技確認			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
実技試験 40%、学習意欲 30%、出席率 30% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				技術習得はもちろんだが、相手への気配りや心配りも大切な事を意識させる。		
実務経験教員の経歴	エステティシャンとしてサロン経験5年間の現場経験があり、基本的技術・知識の他に現場で使える技術・接客等の実践的教育が可能。					

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	行動理解と意思決定心理					【対面授業と遠隔授業の併用実施】	
担当教員	木村亜友、大島莉奈、田村芽依			実務授業の有無			
対象学科	ビューティ&ビジネス・情報大学科	対象学年	1年	開講時期	通年		
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	60		
授業概要、目的、 授業の進め方	人間の行動や意思決定の仕組みについて心理学的観点から理解するとともに、日常生活や社会活動における行動の背景について学ぶ。消費者行動をはじめとする具体的な事例を通して、人がどのように判断し行動するのかを考察する。						
学習目標 (到達目標)	人間の行動や意思決定の基本的な仕組みを説明できる。 状況に応じた適切な判断の重要性を理解できる。						
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	実践行動学テキスト						
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考			
1	【1年生】実践行動学 Part1 意欲的な心構えについて			テキストを使い、ディスカッション&記入形式で行う			
2	マジックドア1 夢と目標について			P1～P7 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
3	マジックドア2 誤った思い込みと言ひ訳			P8～P13 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
4	マジックドア3 行動のよりどころと心構え			P14～P22 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
5	マジックドア4 自分への信頼を取り戻すために			P23～P32 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
6	マジックドア5 目標を設定しよう			P33～P42 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
7	【1年生】国内研修 ホスピタリティーについて			11月 ディズニーランドのホスピタリティーを学ぶ			
8	【1年生】実践行動学 Part2 自分の可能性を広げよう			テキスト使い、ディスカッション&記入形式で行う。			
9	マジックドア1 プラス思考が自分の可能性を大きく広げる			P1～P4 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
10	マジックドア2 考え方を変えれば行動が変わる			P5～P11 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
11	マジックドア3 あなたの問題はあなたが解決できる			P12～P19 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
12	マジックドア4 あなたのコミュニケーションを見直そう			P20～P27 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
13	マジックドア5 目標が才能・可能性を開花させる			P28～P36 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
14							
15							
16							
17							
18							
評価方法・成績評価基準				履修上の注意			
出席率80% 学習意欲20%。				学生の学習意欲が向上するようになぜ必要なのかを、始める前にしっかり導入し、環境を整える事が重要である。			
実務経験教員の経歴	美容部員として現場に5年以上勤務しており、基本的メイク技術・知識はもちろん、接客スキルや最新技術・トレンドの指導も可能。						

科目名	対人能力育成とリーダーシップ基礎			【対面授業と遠隔授業の併用実施】		
担当教員	木村亜友、大島莉奈、田村芽依			実務授業の有無		
対象学科	ビューティ&ビジネス・情報大学科	対象学年	2年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	－	時間数	60	
授業概要、目的、 授業の進め方	社会や集団の中で求められる対人能力の基礎を理解するとともに、リーダーシップの基本的な考え方について学ぶ。自己理解および他者理解を基盤とし、円滑な人間関係の構築や協働のあり方について考察する。主体的に行動する力や、集団の中で役割を果たすための基礎的能力を養う。					
学習目標 (到達目標)	対人関係における基本的なコミュニケーション能力を理解し、実践できる。 集団における自分の役割を理解し、主体的に行動できる					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	実践行動学テキスト					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	実践行動学 Part2 自分の可能性を広げよう			テキスト使い、ディスカッション&記入形式で行う。		
2	マジックドア1 プラス思考が自分の可能性を大きく広げる			P1～P4 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
3	マジックドア2 考え方を変えれば行動が変わる			P5～P11 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
4	マジックドア3 あなたの問題はあなたが解決できる			P12～P19 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
5	マジックドア4 あなたのコミュニケーションを見直そう			P20～P27 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
6	マジックドア5 目標が才能・可能性を開花させる			P28～P36 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率80% 学習意欲20%。				学生の学習意欲が向上するようになぜ必要なのかを、始める前にしっかり導入し、環境を整える事が重要である。		
実務経験教員の経歴	美容部員として現場に5年以上勤務しており、基本的メイク技術・知識はもちろん、接客スキルや最新技術・トレンドの指導も可能。					

科目名	協働社会における人間形成					【対面授業と遠隔授業の併用実施】	
担当教員	木村亜友、大島莉奈、田村芽依			実務授業の有無			
対象学科	ビューティ&ビジネス・情報大学科	対象学年	2.3年	開講時期	通年		
必修・選択	必須	単位数	一	時間数	60		
授業概要、目的、授業の進め方	社会や集団の中で他者と関わりながら成長していく人間形成の在り方について理解するとともに、円滑な協働を促進するためのファシリテーションの基礎を学ぶ。自己理解および他者理解を基盤に、対話や協働を通じた関係構築の重要性について考察する。						
学習目標 (到達目標)	自己および他者の理解を深め、適切に関わることができる。						
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学テキスト						
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考			
1	【2年生】実践行動学Part3 社会へ出る準備を始めよう マジックドア1 入学から今日までの成長を実感しよう			P1～P4 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
2	マジックドア2 働く自分をイメージしてみよう マジックドア3 自分が最大限に生きる働き方とは			P5～P10 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える P11～P14 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
3	マジックドア4 将来を描いてみよう			P15～P20 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
4	マジックドア5 夢実現への第一歩を踏み出そう			P21～P24 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
評価方法・成績評価基準				履修上の注意			
出席率80% 学習意欲20%。				学生の学習意欲が向上するようになぜ必要なのかを、始める前にしっかり導入し、環境を整える事が重要である。			
実務経験教員の経歴	美容部員として現場に5年以上勤務しており、基本的メイク技術・知識はもちろん、接客スキルや最新技術・トレンドの指導も可能。						

科目名	心理的理解による人格形成基礎					【対面授業と遠隔授業の併用実施】	
担当教員	木村亜友、大島莉奈、田村芽依			実務授業の有無			
対象学科	ビューティ&ビジネス・情報大学科		対象学年		2.4年	開講時期	通年
必修・選択	必須		単位数		—	時間数	60
授業概要、目的、 授業の進め方	人間の認知や感情、行動の仕組みについて心理学的観点から理解するとともに、人格形成の基礎について学ぶ。人がどのように物事を捉え、判断し、行動するのかという認知的プロセスを踏まえ、自己および他者の理解を深める。						
学習目標 (到達目標)	自身の行動を振り返り、改善につなげることができる。 自己および他者の思考や行動の特徴を理解し、他者との違いを受容し、多様な価値観を尊重できる。						
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ソワンエステティック 理論Ⅳ						
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考		
1	心理学と人格形成の基礎				テキスト p 154～163		
2	他者理解と多様性				テキスト p 154～163		
3	コミュニケーション心理学 聞く力・伝える力・非言語コミュニケーションについて				グループワーク・テキスト p 166		
4	【聴く】という技術				テキスト p 168～175		
5	【伝える】という技術				テキスト p 177～185		
6	共感力と信頼関係構築 お客様との信頼関係を築くための共感的理解				グループワーク		
7	【共感】という技術				テキスト p 186～191		
8	コミュニケーション実践				ロールプレイング		
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
評価方法・成績評価基準					履修上の注意		
出席率80％ 学習意欲20％。					本科目は自己理解と他者理解を深める体験型授業を含むため、積極的な参加が求められる。グループワークやペアワークでは相手の意見や価値観を尊重すること。個人の考えや経験を共有する場面があるため、守秘義務を守ること。		
実務経験教員の経歴		美容部員として現場に5年以上勤務しており、基本的メイク技術・知識はもちろん、接客スキルや最新技術・トレンドの指導も可能。					

科目名	キャリア開発と自己ブランディング実践			【対面授業と遠隔授業の併用実施】	
担当教員	木村亜友、大島莉奈、田村芽依		実務授業の有無		
対象学科	ビューティ&ビジネス・情報大学科	対象学年	2.4年	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	－	時間数	60
授業概要、目的、授業の進め方	美容業界におけるキャリア形成の考え方を学び、自身の強みや価値を理解しながら、将来の目標設計を行う。自己分析や業界研究を通じて職業観を育成するとともに、SNS活用やセルフプロデュースを含む自己ブランディング手法を実践的に学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	自己分析を通じて自身の強みや課題を理解できる。 美容業界の職種やキャリアパスについて説明できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	面接対策&ビジネスマナー、ワークシート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	キャリア形成の基礎 社会人としての心構え、身だしなみ、敬語		テキスト p 2～10		
2	自己分析① 強み発見		テキスト p 56～65		
3	自己分析② 将来像の明確化		ワークシート、テキスト p 80～85		
4	自己ブランディング基礎 自分らしさを発信する方法を学ぶ		グループワーク		
5	第一印象とセルフプロデュース 身だしなみ・立ち居振る舞い・表情管理		テキスト p 12～26		
6	ポートフォリオ作成実践 自身の技術や活動実績をまとめる		ワークシート、実践		
7	エステティシャン キャリアポートフォリオ		ワークシート、実践		
8					
9					
10					
11					
12					
13					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 70% レポート30 %			美容業界への就職を意識し、自身の将来像を具体的に考えながら取り組むこと。SNS活用に関する演習では、情報モラルや個人情報保護に十分配慮すること。		
成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。			授業内で作成したポートフォリオや自己PR資料は、就職活動やサロン活動に活用できるよう継続的に更新すること。		
実務経験教員の経歴		美容部員として現場に5年以上勤務しており、基本的メイク技術・知識はもちろん、接客スキルや最新技術・トレンドの指導も可能。			

科目名	グローバルキャリア形成実践			【対面授業と遠隔授業の併用実施】	
担当教員	大島莉奈、寺尾奈穂子、遠藤恵		実務授業の有無		
対象学科	ビューティ&ビジネス・情報大学科	対象学年	2,4年	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	一	時間数	60
授業概要、目的、 授業の進め方	世界各国の美容文化やウェルネスの考え方を学びながら、国際的な視野を持った美容人として必要な知識・技術・接客力を養う。メイクでは国際ライセンスの取得やエステではハワイのロミロミやタイ古式マッサージなど世界の美容技術を体験的に学ぶとともに、多様な文化や価値観を理解し、グローバル社会で活躍できる人材育成を目指す。				
学習目標 (到達目標)	文化の違いを前提に行動・調整できる 海外の美容・エステ事情について説明でき、多様な顧客への接客に必要なコミュニケーション力を養う。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ソワンエステティック 理論Ⅰ、HowToMakefaces、補助テキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	グローバル美容産業の理解 世界的美容市場と国際化する美容業界について学ぶ		テキスト p 7～13		
2	異文化理解とホスピタリティ 世界の価値観や接客文化の違いを理解する		テキスト p 24～31		
3	Makeupの歴史		テキスト p 7～10		
4	Makeupの定義		テキスト p 14～30		
5	City&GuildsライセンスMakeup実習①		実習テキスト p 6～21		
6	City&GuildsライセンスMakeup実習②		実習テキスト p 4～17		
7	City&GuildsライセンスMakeup実習③		実習テキスト p 18～29		
8	ハワイの癒し文化とロミロミ① ロミロミの歴史・理念・特徴を学ぶ		補助テキスト		
9	ハワイの癒し文化とロミロミ② ロミロミの基本技術実習		実習		
10	ハワイの癒し文化とロミロミ③ ロミロミの基本技術実習		実習		
11	ハワイの癒し文化とロミロミ④ ロミロミの基本技術実習		実習		
12	タイの伝統医療とタイ古式マッサージ① タイ古式の歴史・理論・身体観を学ぶ		補助テキスト		
13	タイの伝統医療とタイ古式マッサージ② 基本手技・ストレッチ技術実習		実習		
14	タイの伝統医療とタイ古式マッサージ③ 基本手技・ストレッチ技術実習		実習		
15	タイの伝統医療とタイ古式マッサージ④ 基本手技・ストレッチ技術実習		実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技試験 80%、学習意欲 15% レポート 5% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。			実技授業では相モデルでの施術を行うため、衛生管理および安全管理を徹底すること。 異文化や伝統技術への理解と敬意を持って受講すること。 世界的美容文化への興味関心を持ち、主体的に学習へ取り組むこと。		
実務経験教員の経歴	美容部員として現場に5年以上勤務しており、基本的メイク技術・知識はもちろん、接客スキルや最新技術・トレンドの指導も可能。 現エステサロンオーナーであり、技術指導者。多彩なテクニックを指導することができ、所作やマナー面でも現場感覚の指導が可能である。				

科目名	主体的キャリア形成を基盤とした起業基礎			【対面授業と遠隔授業の併用実施】	
担当教員	木村亜友、田伏澄子、原直美		実務授業の有無		
対象学科	ビューティ&ビジネス・情報大学科	対象学年	3.4年	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	一	時間数	60
授業概要、目的、 授業の進め方	就職実務やサロンマネジメントで扱うキャリア設計・就職活動スキルと、起業基礎で扱う課題発見・価値創造・事業構想の考え方を統合し、主体的にキャリアを切り拓く力を育成する。 学生は、企業に「選ばれる」視点に加え、自ら価値を創出する視点を持ち、小規模な事業アイデアの構築と検証を通じて、就職・起業の双方に活かせる実践力を身につける。				
学習目標 (到達目標)	キャリア形成における主体性の重要性を理解している				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	面接対策&ビジネスマナー、ソワンエステティック理論Ⅰ、補助プリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	企業に選ばれる力を身につける① 自己分析・業界研究		テキスト p 96～102		
2	企業に選ばれる力を身につける② 履歴書・面接・ビジネスマナー		テキスト p 96～102		
3	エステ業界のビジネスモデル サロン経営の仕組みと収益構造を理解する		テキスト p 94, 95		
4	顧客ニーズの分析① 市場ニーズについて学ぶ		テキスト p 103		
5	顧客ニーズの分析② 顧客満足について学ぶ		テキスト p 109～113		
6	サロン運営① サロン企画・コンセプト設計		テキスト p 104～107		
7	サロン運営② サロン企画・価格メニュー設定		テキスト p 114～124		
8	サロン運営③ サロン開業		演習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 70% レポート30 %			本科目は、自身のキャリア形成と美容ビジネスの基礎を学ぶ実践型授業であるため、主体的かつ積極的な参加が求められる。 授業内では自己分析や将来設計、グループワーク、プレゼンテーションを行うため、自ら考え発言する姿勢を持つこと。 美容業界の動向や市場ニーズについて日頃から関心を持ち、情報収集に努めること。		
成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。			就職活動や将来の独立・開業を見据え、自身のキャリアビジョン		

実務経験教員の経歴

エステティシャンとしてサロン経験5年間の現場経験があり、基本的技術・知識の他に現場で使える技術・接客等の実践的教育が可能。

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	職業社会における情報倫理実践			【対面授業と遠隔授業の併用実施】	
担当教員	木村亜友、田村芽依、石川育実、田伏澄子		実務授業の有無		
対象学科	ビューティ&ビジネス・情報大学科	対象学年	1.3年	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	－	時間数	60
授業概要、目的、授業の進め方	「情報化社会と情報倫理」で扱う知識（法令・モラル・リスク）と、「就職実務」で扱う社会人基礎力・職業意識を統合し、職業人として求められる情報リテラシーと倫理観を養う。 SNS利用、個人情報管理、著作権、企業機密などの事例を通して、「何が問題か」だけでなく「どう行動するべきか」を判断・実践できる力を身につける。				
学習目標 （到達目標）	情報倫理および関連法規（個人情報・著作権等）を理解している SNS利用や情報化社会におけるリスクと責任を理解している				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	SNS・ネットで違法行為をしないためのガイドブック				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	情報社会と職業倫理 情報化社会の現状と美容業界に求められる情報モラル		グループワーク		
2	SNS利用と情報発信の責任 SNSトラブル事例と適切な活用方法		テキスト p 6～36		
3	著作権と肖像権		テキスト p 38～40		
4	個人情報保護と守秘義務		テキスト p 40～42		
5	情報倫理ケーススタディ 美容現場で起こり得るトラブル事例検討		テキスト p 50～54		
6	情報発信実践とまとめ 信頼される美容人材としての情報活用を考える		グループワーク		